

第109号

地域情報ニュース

# 品川宿

平成25年3月21日発行

品川第一地域センター

(03-3450-2000)



1月13日(日)、東京電力品川火力発電所にて、青少年対策品川第一地区委員会・品川第二地区委員会合同の「親子のあけ大会」が開催されました。

参加者は総勢230名(品川第一地区から参加の親子は77名)でした。

当日は、1月とは思えないほどの暖かな日でしたが、風が弱かったため、子どもたちは必死に走ってたこを揚げていました。

また、羽根つき、けん玉、コマなど昔ながらの遊具も用意され、子どもたちはお父さんやお母さんに教わりながら、親子で一緒に楽しく遊んでいました。



けん玉



羽根つき

希望者には、東京電力による発電所見学が開催され、普段は見ることができない巨大な発電機や、中央管理室の最新設備を見学する子どもたちの目は輝いていました。

☆大人も子どもも笑顔あふれる「たこあげ大会」となりました。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



## アイススケート

2月10日(日)、青少年対策品川第一地区委員会

会は、横浜市にある神奈川スケートリンクで「レッツ♪アイススケート」を実施しました。

参加者は、小学生を中心に4歳の幼児から大人までの総勢100名でした。

スケートが初めての人は、サブリンクで開催された初心者スケート教室に参加し、滑り方から転び方までを学び、スケートの腕を磨いていきました。



やっぱり大人より、子どもたちの方が早く上達していたようでした。

大きなメインリンクでは、親子や友達同士で手をつないで一緒に滑ったりと、少し汗をかきながら、氷の上を滑る楽しさを存分に味わっていました。

約3時間、自由にスケートを楽しみ、参加者からは「たくさん転んだけれど、とても楽しかった。また行きたいです。」などの感想が寄せられました。



## 区内一斉防災訓練

2月2日(土)、品川区として初めての取り組みとなる「区内一斉防災訓練」が実施されました。

今回の訓練では、震度7の地震発生を想定し、品川区13地区のそれぞれの会場にて、避難所の開設・避難者名簿の作成・傷病者の搬送・物資配布等の各種訓練を行いました。



品川第一地区では、台場小学校にて、管内全ての町会・自治会が参集し、



関係者を含めて202名の方が訓練に参加され、防災意識の高さを示すものとなりました。

### 避難者名簿記入の様子

(名簿を集計し、パソコンを使って、避難者登録システムに入力します)

また、品川消防団第一分団の指導のもと、傷病者を、毛布を使って運ぶ方法や、器具を使わず2人で担ぎ上げる方法など、より実践的な搬送訓練を実施しました。



消防団員の分かりやすくて的確な指導には、多くの参加者から「またやってほしい」などの賞賛の声があり、訓練は大好評でした。

なお、避難所開設訓練終了後には、品川消防署の隊員によるスタンドパイプの取扱い方法の説明が行われ、参加者は、配備されたばかりのスタンドパイプの使い方を熱心に教わっていました。



「避難所」は、災害発生時に不特定多数の人が一緒に生活をする場となります。そのため、普段から今回のような訓練を行い、いざという時に混乱が生じないように準備する必要があります。今後とも、品川区の防災力向上のため、ご理解ご協力をお願いいたします。

回覧